特　集

ご存じですか？

東山ふれあいの森

四季の移ろいを感じながら散策できる「東山ふれあいの森」。この市民の憩いの森は、25年もの間、ボランティアの皆さんによって守られてきました。



グリーンボランティア森林づくり名張

東山ふれあいの森の保全・整備作業を25年にわたって行ってきた自然を愛する皆さん。毎月第2・第4木曜日の午前中に活動している。

気軽に自然にふれあえるこの場所を守りたい

「東山ふれあいの森は歩きやすいように整備されているので、山歩きに慣れていない人の散策にもおすすめです」

そう話すのは「グリーンボランティア森林づくり名張」代表の栢部宗嗣さん。栢部さんたちボランティアの皆さんは、東京ドーム約3・6個分の広さがある「東山ふれあいの森」の手入れを続けてきました。この森は、平成5年の整備以来、四季の植物を楽しみながら散策できる公園として親しまれています。

しかし、整備からしばらくの間は手入れが行き届かず、草木が伸び放題になっていた時期も。「みんなの大切な森を守りたい」と立ち上がったのが、ボランティアの皆さんでした。

「みんなが安心して歩けるように、散策路の点検は欠かせません」と栢部さん。近年は松くい虫による松枯れなどが深刻で、散策路沿いに今にも倒れそうな木が増えているのだそう。そんな危険な木を、仲間と声をかけ合いながらチェーンソーで手際よく取り除いていきます。

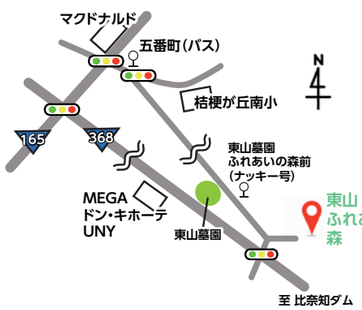
活動は伐採だけではありません。園内のごみ拾いをしたり、旅する蝶・アサギマダラが好むサワフジバカマを植えたりと、みんなが心地よく過ごせる環境をつくり上げています。

栢部さんは「東山ふれあいの森の存在自体が、あまり知られていないように感じます。みんなで一生懸命手入れをしているので、ぜひ足を運んでみてほしいですね」と笑顔を見せました。

病気で弱った木の倒木や落枝は危険。安全のための伐採が欠かせない。

広い道あり、狭い道あり。歩いていると景色が変わっておもしろい。

◀ 次ページに「保存版 東山ふれあいの森散策マップ」を掲載！





グリーンボランティア森林（もり）づくり名張
栢部（かやべ） 宗嗣（むねつぐ）さん



手入れせぇへんかったら、ここはどうなっていくんやろう。

これまで森を支えてきたボランティアは70代が中心となり、高齢化が進んでいます。このままだと、安心して散策できる環境を維持できません。次世代へみんなの森をつなぐため、あなたの力が必要です。





1展望台から梅が丘方面を望む。数年がかりの伐採で眺望が開け、市内が一望できるように　2互いに学び合っているボランティアの皆さんと「DRT - JAPAN 隠」のメンバー。会話が弾む　3弱った木を切ることは、倒木・落枝の防止だけでなく、日光と心地よい風を行き渡らせ、他の植物が育ちやすい環境を作ることにもつながる

若い人もおっちゃんもみんなでみんなの森を守る

メンバーの高齢化が進み、若い力が求められています。そんな中、昨年からは消防職員による災害ボランティアチーム「DRT-JAPAN隠（かくり）」のメンバーが活動に協力するようになりました。チェーンソーの扱いを実践的に訓練できる場としても協力を始め、ロープを使った高所の枝の伐採や安全管理など、仕事で培った技術を発揮しています。

森での作業には正しい知識と技術が欠かせません。「グリーンボランティア森林づくり名張」は「正しい道具の扱い方を学びながら、私たちの活動を知ってもらえたら」と、12月に初心者向けのチェーンソー講習会を開催します。ぜひ気軽にご参加ください。

世代の違いを楽しんで

メンバーの皆さんはまさに「師匠」のような存在。植物の知識や人生経験など、学校では習わない「人生を楽しくする知恵」をたくさん教えてくれます。世代が違うからこそ、先輩たちの魅力がより引き立つのかもしれません。

協力を始めるまでは行ったことがなかった「東山ふれあいの森」ですが、今ではすっかり思い入れのある場所に。気負わず、活動に加わってみてくださいね。



DRT - JAPAN 隠（消防職員）
竹森 康介さん・田中 宏紀さん

初心者歓迎！正しい使い方を学ぼう

チェーンソー講習会



時 12月5日㊏ 9:00 ～ 12:00
所 東山ふれあいの森
定 先着10人
¥ 500円（保険、テキスト代）
持ち物　作業服、手袋、安全靴、ヘルメット（貸与有）、防護ズボン（貸与有）、筆記用具
申 11月15日㊐までに ✉ katarou26@gmail.com へ名前、住所、電話番号、年齢、経験の有無を連絡
問 **グリーンボランティア森林づくり名張**
☎ **090 - 5602 - 5918（栢部）**